



2022年11月11日

各位

会社名 東洋インキ SC ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 高島 悟
(コード: 4634 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員・グループ財務部長 有村 健志
(TEL. 03-3272-6002)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	310,000	13,000	14,000	12,500	229.30
今回修正予想(B)	315,000	7,000	8,500	9,000	165.82
増減額(B-A)	5,000	△6,000	△5,500	△3,500	
増減率(%)	1.6	△46.2	△39.3	△28.0	
(参考)前期連結実績(2021年12月期)	287,989	13,005	15,442	9,492	169.36

2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進み、緩やかな持ち直しの動きも見られましたが、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制等を受けた原材料やエネルギーの価格高騰、供給面での制約に加え、世界的な金融引締めによる景気の下振れリスクや急激な為替変動が生じております。また、主要市場の一つであるディスプレイ業界では在庫調整の動きが急速に進むなど、企業活動に大変厳しい影響がありました。そのなか、当企業グループにおきましては、原材料を確保し顧客への安定供給に努めたことに加え、円安外貨高による為替換算の影響もあり、売上高は想定以上に推移しております。一方、原材料やエネルギーなどの価格が想定を上回って高騰し続けており、コスト削減や適正な販売価格への改定にも努めておりますが、利益改善には時間を要し、当第3四半期連結累計期間の低調を補うには至らないものと見込まれますため、通期連結業績予想を修正することといたしました。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基にしており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上